

# 生協10の基本ケアニュース vol.4

ご利用様が自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、日常生活行為そのものをリハビリと捉えた自立支援を行っています。個々のケースに応じて「この利用者にとっての自立支援はどう考えるか」を日々話し合い、その方の想いに添った目標、それを実現するためのケアのあり方を「生協10の基本ケア」を通して共通理解を持つことで、統一したケアを実践しています。これまでの、取り組みを通して、ご家族様から頂いた声を紹介します。



一緒にどうですか

ムリです

できません

利用開始当初は、心身の不調もあり、活動が消極的になってしまふ場面もよく見られました。「自分は何も出来ないから」と何もしないで過ごす日もあり、自分から話をする事もありませんでした。



体重も減ってきて心配だな。。

もうお腹がいっぱい

食事や水分管理、入浴の支援を行い、訪問時にはご主人からの相談も受けながら、今の生活を続けるためのサポートを開始しました。

息子さんが協力し、ご夫婦二人暮らしをされています。家事や薬の管理をご主人がされていましたが、少しずつ難しくなり、輝に相談がありました。



いつもありがとうございます

出来ないところだけ部分的に手伝い、出来ることは声をかけながら見守りをする事を継続していくことで、少しずつ変化が見られました。



やり方を丁寧に説明したらどう?

まず、どんな事がどれだけできるか調べてみましょう

出来る事を一つでも増やしたい!

このからも、ご夫婦での暮らしを続けるために、

という職員の想いから、まずは何から取り組んでいくか、話し合いをしました。

「このような方を増やしていきたい!」と改めて感じています。

職員も大きな喜びを共有させていただきました。

今では、自ら職員の名前を呼んで、お話を下さるようになりました。この方の表情の変化は、ご本人や家族は勿論、職員も大きな喜びを共有させていただきます。



▲ ご自分の薬のセット



▲ 貼り絵づくり

役割を持ち、感謝の声を掛けられることにより、生活に意欲も見られるようになりました。すっかり食事も取れるようになり、息子さんが心配されていた体重も5キロ増加しました。

レクリエーションにも積極的に参加されるようになりました。

**その他にもたくさんの声を頂いています!**

- ・おばあちゃんがひ孫の面倒を見てくれるようになったお陰で、嫁もいろいろと手伝ってくれるようになりました。家族みんなで介護ができるようになり、おばあちゃん存在がありがたいと思うようになりました。
- ・おばあちゃんが桜を見に連れて行ってもらったことをとても喜んでいました。昔から車酔いをする方だったのですが、それも忘れる程楽しかったようです。こんな体験も輝に通うようになったお陰だと感謝しています。
- ・先日、久しぶりに義妹と姪と会った際に「数年前の母とあまり変わっていない」と褒められ、「輝のお陰で」という話をしました。母の認知症があまり進まないのは本当にありがたいです。

**ご家族様より**

食事をしっかり食べれるようになり、体重も増えて嬉しいです。少しずつ出来ることが増え、このまま今の状態を維持していきたいと思えます。元の生活に戻していただきありがとうございました。

